

# 令和7年度「学びのつどい」報告書【様式】

記入日 令和7年9月26日

## 活動内容

〈題〉 「子どもの“性と生”にどう向き合うか

～子どもたちが自分らしく“性”を生きることについて考える～

学級名 太田小学校 PTA 教養部

学級担当者 副校長：平田 敬子

## 1 学級の組織ならびに学習のねらい及び重点

- ・構成員 各学年 PTA から選出された部員及び教職員
- ・学級の運営組織 太田小学校 PTA 教養部
- ・学習のねらい・重点 心身ともに健全な児童の育成をめざし、子どもを深く理解し、親としての豊かな教養を身に付ける。

## 2 学習計画と活動の状況

回	日時	講話題	講師（職・氏名）	参加人数
1	令和7年 9月26日	「子どもの“性と生”にどう向き合うか～子どもたちが自分らしく“性”を生きることについて考える～」	岩手県立大学看護学部 大学院看護学研究科 助産学・母性看護学・女性健康看護学 教授 福島 裕子 氏	37名
		内容	感想など	
		性の多様性についての知識や、親として子どもの性にどう向き合うかについて考える内容であった。	・改まって性教育をするというよりは、普段の子どもとの関わり合いが性教育につながっているのだと学びました。子どもの話を否定せずに聞いてあげたいと思いました。 ・なかなかこのような講演を聞く機会がなかったので、今回参加してよかったです。性別にとらわれることなく、子どもの人となりを大事にしようと改めて勉強になりました。 ・わかりやすく、聞きやすかったです。なかなか難しい内容の議題でしたが、これからの社会にはとても重要なことだと思いました。子どもも、性のことはいきなりは理解できないかもしれません、相手を認めること、自分の大切さを教えていただけたらよいと思います。 ・「性」というテーマを見た時に、親子でもすごく話しにくいことだと思いました。でも、講師の先生がとても分かりやすく、丁寧にお話をしてくださいました。包括性性教育は、5歳から始まるというのには驚きました。性とは全く関わりのない年齢だと思っていたので、それだけ、「性」は大事だとわかりました。自分の心と体に違和感を持った時に、親には安心して話せないという割合の高さにびっくりです。いかに本人に寄り添って話を聞いていくことが大切なのが分かりました。貴重なお話をありがとうございました。	

## 3 成果及び今後の課題

### （1）成果・活動において工夫したこと など

- ・保護者の皆さんのお希望していた講座内容と講師をお招きして実施することができた。参加者の皆さんのが満足のいく内容となりました。

### （2）今後の課題

- ・多くの方に参加いただけるように、家庭教育学級を授業参観日に合わせて開催している。今後も、実施時期や内容を吟味して、更に充実したものにしていきたいと思います。

### （3）その他、今後の「学びのつどい」の在り方に関すること など

- ・「学習選択講座」や「講師謝金支援」があることにより、家庭教育学級が実施しやすく、とても感謝しています。

